

大島議員（自民議連）

平成 27 年 9 月 28 日
教育長 答 弁 実 録
（ 教 育 委 員 会 ）

（問）広島県教育が目指す人物像について

本県がたどってきた技術立県，ものづくり立県としての歴史を振り返り，その評価と反省の上に立って，今後の広島県を考えるべきである。

昨年 1 2 月策定の「広島版『学びの変革』アクション・プラン」では，グローバル化する社会で活躍する人材の育成を図るとされているが，このプランを見ると，本県がたどってきた発展の歴史を踏まえた内容になっているようには全く見えない。

次世代を担う人材育成を図っていくためには，いわゆるハウツー的な各論を網羅するのではなく，近現代教育や国語教育を重視し，過去の歴史を踏まえて，ものづくり県広島を支える人材の育成という視点をより重視して，本県にとって必要な人材とは，どのような人材であるかを考える必要がある。

こうした観点から，広島県の教育がどのような人物像の育成を目指すのか，明確に示すべきと考えるが，所見を伺う。

（答）

「広島版『学びの変革』アクション・プラン」は，社会経済の急速なグローバル化が進展する中，本県が持続的に発展していくために，世界を舞台に活躍する人材や，グローバルな視野を持ちつつ地域の成長・発展を支えることのできる人材など，厚みのある人材層を形成するために，新たな教育の方向性を示したものでございます。

この厚みのある人材層には，ものづくり県広島を支える人材も含まれており，こうした人材には，広島県がたどってきた発展の歴史を踏まえつつ，課題を発見し，解決するために，勉強や経験などを通して学んだ知識や技能を活用し，さらには，探究的な活動を行って，新たな価値を創造していく力が求められているものと考えております。

こうした観点から，「知識」「スキル」のみならず，協調性や主体性などの「意欲・態度」，さらには共感力や人としての思いやりといった「価値観・倫理観」を育てていくことで，広島で学んだことに誇りを持ち，胸を張って「広島」，「日本」を語り，高い志のもと，世界の人々と協働して新たな価値を生み出すことのできる人材の育成を目指してまいります。